

武蔵野学院大学大学院 R5 卒業時アンケート

対象：令和6年3月卒業生（回答者1名/卒業生1名（回答率100%））

（大学生活を通じた成長実感について）

ディプロマ・ポリシー(修了認定・学位授与方針)

博士前期課程（国際コミュニケーション専攻）

本学では以下のような能力を身につけ研究成果をおさめ、かつ所定の単位を修得した学生は、修了が認定され、修士（国際コミュニケーション）の学位が授与されます。

（1）国際コミュニケーションの知識と理論

多様化・複雑化する国際コミュニケーションの理論を中心に、専門性の高い見識を深め、高度な学識を身に付けた人材。

（2）研究者としての汎用的技能

カリキュラムの多面的履修を通して、知識基盤社会を支える高度のコミュニケーション・スキルとして語学、その背景にあるコミュニケーション理論を備え、研究者として問題を解決に導く姿勢を身に付けた人材。

（3）研究者としての態度・志向性

建学の精神「他者理解」に基づき、研究倫理を遵守し、研究者として研究計画・研究発表・研究報告・論文執筆に真摯に取り組む姿勢を身に付けた人材。

（4）総合的な研究経験を通しての創造性と独自性

2年間にわたる「講義」「演習」を通して身に付けた専門的な知識を基に、研究指導を十分に受け、国際コミュニケーションの視点からの研究をまとめた修士論文が、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力などを統合し、これまでの先行研究を踏まえ、十分な実証が行われ、確かな見識を身に付けた人材。

ディプロマポリシーの到達度

多様化・複雑化する国際コミュニケーションの理論を中心に、専門性の高い見識を深め、高度な学識が身についた	とても実感している
知識基盤社会を支える高度のコミュニケーション・スキルとして語学、その背景にあるコミュニケーション理論を備え、研究者として問題を解決に導く姿勢が身についた	とても実感している
研究倫理を遵守し、研究者として研究計画・研究発表・研究報告・論文執筆に真摯に取り組む姿勢が身についた	とても実感している
国際コミュニケーションの視点からの研究をまとめた修士論文が、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力などを統合し、これまでの先行研究を踏まえ、十分な実証が行われ、確かな見識を身についた	とても実感している

(大学生生活の満足度について)

教育内容全般	とても満足している
学生生活全般	とても満足している
教員による指導・支援	とても満足している
学生支援体制（窓口サービス）	とても満足している
就職支援体制	とても満足している
課外活動（クラブ・サークル）に所属していた人はクラブ・サークル名を、所属していなかった人はその理由を書いてください。	大学院生です
課外活動（クラブ・サークル）	とても満足している
キャンパス環境（施設・設備）	とても満足している
困ったとき時に相談できる友達は何人いますか？	五人
大学院で学んだことは社会に出てから活用できると思う	とても思う
本学で得た知識、スキル、経験などのうち、思いあたることがあれば、ご自由にお書きください。	日本の食文化の知識
本学へのご意見や要望等自由にお書きください。	食堂の種類がおいしくないと思います